

「地域公共交通コーディネーター・ プロデューサー養成プロジェクト」 関連のお知らせ

2025年12月19日
代表:加藤博和(名古屋大学)

大都市都心でAIオンデマンド交通は なぜ継続できなかつたか? ～公共交通の今後を考えるシンポジウム～

※本講座とは別のものです。詳細は加藤のHPにて後日公開します。

<趣旨>

- ・名古屋市千種区の南西部、千石・千種学区周辺で実証運行が行われていたAIオンデマンド運行バス「mobi(モビ)」が、2025年12月31日をもって運行終了となります（それまでにぜひ乗車してみてください）。
- ・鉄道やバスでカバーできないところまで低料金で行くことで多くの利用がありましたが、運賃だけでは経費を貯えず継続ができませんでした。
- ・今回の結果を踏まえ、大都市の中を細かくカバーする公共交通機関の可能性について、大いに議論します。

<出演者> 加藤博和(名古屋大学)、Community Mobilityの担当者、千石学区の住民代表、外部有識者

<時間> 2026年1月25日(日)13:30~16:00(予定)

<場所> 名古屋大学鶴舞キャンパス(実験運行が行われた地域にあります)

インターンシップ 「第2回上信電鉄沿線地域懇談会」

※本講座のプログラムです。事務局のメールアドレスへ参加表明してください。
インターンシップとしては原則3回出席ですが、スポットの傍聴も可能です。

<高崎エリア>

2026年1月24日(土) 14時30分～16時30分

高崎市総合保健センター(高崎駅から徒歩・バス)

<富岡・甘楽エリア>

2026年1月26日(月) 9時50分～11時50分

富岡市水道会館(上州富岡駅から徒歩)

<下仁田・南牧エリア>

2026年1月26日(月) 15時00分～17時00分

下仁田町役場(下仁田駅から徒歩)

第2回 上信電鉄を中心とした沿線地域の 公共交通のあり方に関する地域懇談会

上信電鉄沿線地域交通リ・デザイン推進協議会※では、沿線地域の交通の再構築（リ・デザイン）に向けた検討をしています。そこで、上信電鉄を中心とした沿線地域の公共交通のあり方や課題解決に向けた具体的な実施方策について議論する地域懇談会の第2回目を開催します。

第1回では、上信電鉄沿線地域の公共交通に対する現状の課題を共有しました。第2回では、上信電鉄沿線地域の公共交通を今よりもっと使いやすくするための改善策について話し合っていきます！

※県、沿線市町村、鉄道事業者、交通事業者、利用者、関係団体等により構成される法定協議会



<https://www.pref.gunma.jp/page/711517.html>